

PROJECT 02

未来の担い手 高校生が選ぶ
ものづくり企業グランプリ

2020年から新たにスタートする「-高校生が選ぶ!働きたいSAGAものづくり企業-みんなのファクトリーGRANDPRIX(グランプリ)」。本グランプリでは、ものづくり産業の未来を担う高校生が、働きがいや働きやすさを享受できる、魅力ある職場づくりに取り組むものづくり企業に投票。グランプリを通じて、ものづくり産業の魅力を若者に伝え、イメージアップを図ります。



高校生が選ぶ!

働きたいSAGAものづくり企業
みんなのファクトリー
GRANDPRIX 2020

2020夏
公募予定!

STEP 1

公募

(働きがいと働きやすさをPR)



各企業ならではの働きがいや働きやすさに関する魅力ある取組を募集します。

STEP 2

PR動画制作

(審査で対象企業を選定)



審査で選定した企業の魅力ある取組を映像化し、PR動画として制作します。

STEP 3

グランプリ

(最優秀賞決定)



高校生がPR動画を審査。グランプリを通じ、ものづくり産業の魅力を伝えます。

佐賀ファクトリーブランディング事業の概要

佐賀県経済を支えるものづくり産業の最重要課題である人手不足を解消するため、ものづくり産業に対する「きつい」、「危険」などのマイナスイメージの払拭に向けたものづくり産業のイメージアップ、価値向上をサポートし、働きがいと働きやすさを享受できる、ものづくり産業を目指す。

事業の2つの柱

PROJECT 01

未来のものづくりへ
モデル企業ブランディング

企業ブランディングの要素

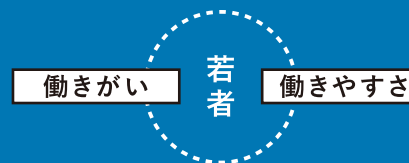


企業にとって重要なビジョンの見直しや工場のデザイン変更など企業ブランディングのモデルケースをつくり、ブランディングに取り組むものづくり企業を増やします。

PROJECT 02

未来の担い手 高校生が選ぶ
ものづくり企業グランプリ

働き手となる若者が求める要素



ものづくり産業の未来を担う高校生が、魅力ある職場づくりに取り組むものづくり企業に投票。グランプリを通じて、ものづくり産業の魅力を若者に伝えます。

3年間の事業スケジュール

- 2019 ①モデル企業ブランディング 第1期スタート
・モデル企業の公募・選定
・モデル企業ヒアリング(課題の抽出)
・企業課題の解決に向けた取組
②ものづくり企業グランプリ 制度創設
- 2020 ①モデル企業ブランディング 第2期スタート
・前年度モデル企業の取組の深化
・新規モデル企業の公募・選定、ブランディングの取組
②第1回ものづくり企業グランプリ 開催
- 2021 ①モデル企業ブランディング 第3期スタート
・前年度、前々年度のモデル企業の取組の深化
②第2回ものづくり企業グランプリ 開催
3年間の事業検証

佐賀ファクトリーブランディング事業総合ディレクター:テツシンデザイン代表取締役 先崎哲進

お問い合わせ先:佐賀県産業労働部ものづくり産業課 〒840-8570 佐賀県佐賀市内1-1-59
TEL:0952-25-7421 FAX:0952-25-7282 E-mail:monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp

Copyright©2020 Saga Prefecture.All Rights Reserved

SAGA FACTORY BRANDING

佐賀ファクトリーブランディング

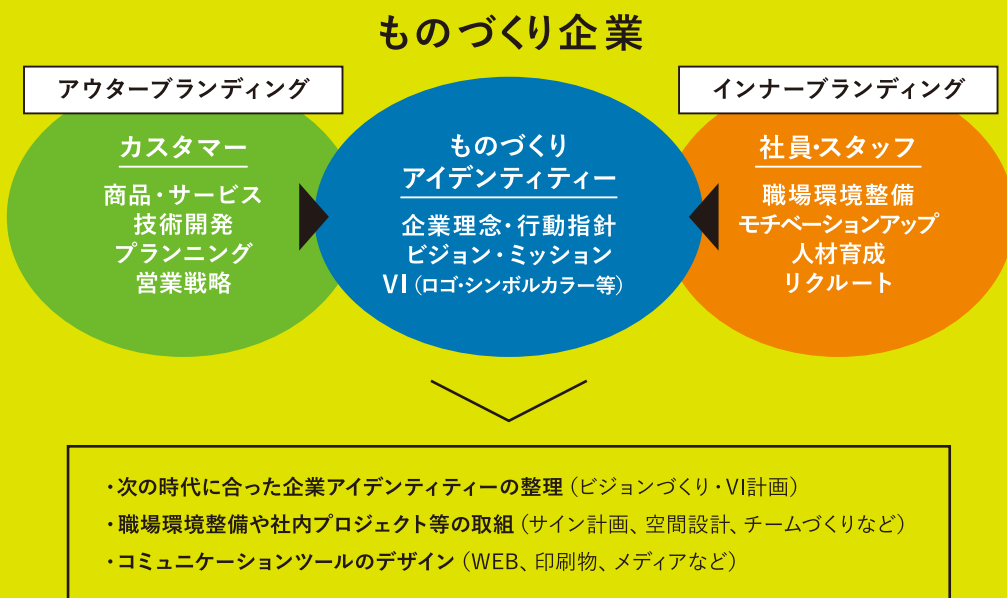
ものづくりの未来をアップデート

Report 2019 > 2020

PROJECT 01
未来のものづくりへ
モデル企業ブランディング

企業にとって重要なビジョンやロゴの見直し、そしてコミュニケーションツールの開発、工場空間のデザイン変更など、企業ブランディングのモデルケースをつくります。これにより、ブランディングに取り組むものづくり企業を増やし、ものづくり産業全体のイメージアップを図ります。

※本事業では、商品開発は行わず、企業自体のインナーブランディングを行います。



モデル企業と取り組んだ企業ブランディング事業レポート Branding Report with Model Companies

八雲製作所

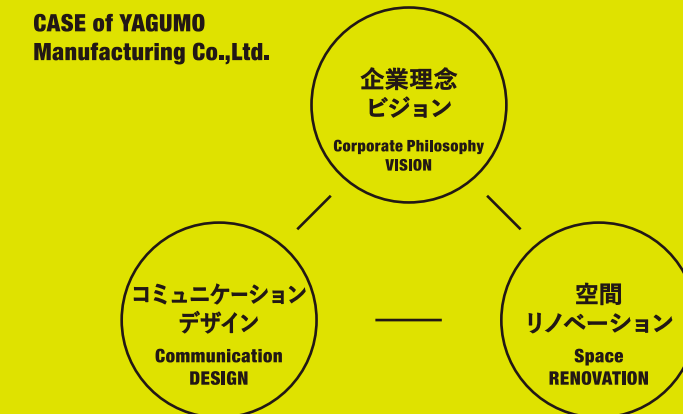
ものづくりの3Kイメージから脱却し、未来の町工場へ。

ブランディングチーム：水田秀樹、山田芳郎、岡優一、齋藤秀昌、友寄夏幹、テツシンデザイン

HISTORY 神崎市に所在する八雲製作所は、1938年にプレス加工専門メーカーとして創業を開始して以来、今日まで80年以上に亘り、一貫してプレス加工周辺事業を展開し続けてきました。現在では自動車部品、自動二輪部品に加えて、産業機器部品や一般家庭向け製品の部品加工まで、幅広い分野の様々なメーカーに部品を供給しています。

MISSION 工場は老朽化が進み、職場環境の整備が遅れているため、「きつい、汚い、危険」の3Kイメージがつきまとっていました。そこで、3Kイメージ脱却のため、10年先を見据えたビジョン等を再考。同時に、ロゴデザイン等のツールを見直し、職場環境の改善も計画。ハード・ソフト両面の未来像を示すことで企業のイメージアップを図ります。

OUTPUT 企業理念、ビジョン、ロゴやWEB、会社案内等のコミュニケーションツール、サイン計画、空間のリノベーション計画等をまとめたマスタープランを作成。今後はマスタープランに基づき、社員が集う食堂やトイレ等の職場環境の改善や「見せる工場」づくりなど、魅力ある空間づくりに取り組みます。



CASE 1

株式会社八雲製作所 / 神崎市

NEW BRAND LOGO

YAGUMO
Manufacturing Co., Ltd.

PROJECT

「きつい、汚い、危険」という製造業の3Kイメージを払拭するため、10年先のビジョンを掲げ、職場環境の改善や工場見学を視野に入れたマスタープランを作成。

CASE 2

山口産業株式会社 / 多久市

NEW BRAND LOGO

WRAP THE FUTURE
MEMBRANE LAB.
POWERED BY YAMAGUCHI NEW SHELTER INDUSTRY INC.

PROJECT

これからの時代ニーズや社会課題に取り組むというミッションを掲げ、企業の社会価値や認知度を向上させることにより、リクルートや人材の育成に繋げていく。

山口産業

YAMAGUCHI
NEW SHELTER
INDUSTRY Inc.

社会課題に挑む会社という新しい姿の発信。

ブランディングチーム：永田由郷、田崎佑樹、豊永翔平、塩浦政也、黒岩聡、藤本幸一郎、テツシンデザイン

HISTORY 多久市に所在する山口産業は、1972年に創業したテントハウスの総合メーカーです。かつては炭鉱用のシートや風管の製作から始まり、「膜で街を未来を華やかに」を掲げ、今では様々な用途の膜構造建築物を設計、製作するようになりました。膜の無限の可能性を常に探索し、それを実現するための研究を行っています。

MISSION 業界トップクラスのシェアにもかかわらず、県内での企業認知度の低さと膜構造のイメージのしにくさから、優秀な人材の確保が難しい状況でした。そこで、未来の社会課題の解決に向けたプロジェクトに取り組み、その姿を発信することで、企業の社会価値や認知度を向上させ、リクルートや人材の育成に繋げていきます。

OUTPUT 膜構造のサステナブルな可能性 (短期間・低コスト・移動可能) × 社会課題 (環境・災害・エネルギー・貧困など) という新しい膜構造の可能性に着目。各ジャンルに精通したアドバイザーとともに様々な社会課題に取り組む「メンブレインラボ」を設立。今後、ラボを中心に異業種とのコラボやチャレンジしたい人材に向けた情報発信等を行います。

